

USB 遅延接続アダプタ説明書

Ver.2.21

◆ 概要

- USB 遅延接続アダプタは、USB 周辺機器のPCへの接続をPCの電源オンから一定時間遅らせる装置です。
- 周辺機器が接続されていない状態でPCを起動し、起動動作が完了してPCの動作が安定した時点で周辺機器の接続を行うことで、PC起動時のトラブルをさけることができます。



◆ 接続方法

- 遅延接続アダプタのUSBコードをPCの USB ポートにさし込んでください。
- 周辺機器の USB コードを遅延接続アダプタのコネクタにさし込んでください。
- ドライバ等ソフトウェアのインストールは不要です。OS は問いません。

◆ 使用方法

- PC の電源をオンにすると、遅延接続アダプタのランプが赤色に点滅します。この時点では周辺機器側に USB の電源が接続されず、PC は周辺機器の接続を認識しません。
- ランプの点滅は接続の 1 分前から早くなり、10 秒前からさらに早くなります。
- 設定した時間が経過すると遅延接続アダプタのランプが緑に変わり、周辺機器に USB 電源が供給され、PC は周辺機器を認識するようになります。



◆ 遅延時間設定

- PC の電源オンから周辺機器の接続までの時間を設定します。
- ケース底にあるダイヤルをマイナスドライバーで回して設定を行います。
- 設定は PC の USB ポートから外した状態で行ってください。動作中の変更は無効です。

ダイヤル	遅延時間 [秒]	ダイヤル	遅延時間 [秒]	ダイヤル	遅延時間 [分]	ダイヤル	遅延時間 [分]
0	0(即時)	4	8	8	2	C	8
1	1	5	15	9	3	D	10
2	2	6	30	A	4	E	20
3	4	7	60	B	6	F	30



遅延時間には3%程度の誤差があります

◆ 使用上の注意

- 独自の電源を持たないバスパワー方式の周辺機器用です。電源コードやACアダプタを使用するセルフパワー方式の場合その機器に PC 電源連動機能があれば使用可能です。
- 電源付きハブなどにより、PC の電源オフの間も USB 電源がオンのままの場合は遅延が働きません。